

2 宗 監 第 77 号
令和 2 年 8 月 24 日

宗像市長 伊豆 美沙子 様

宗像市監査委員 佐藤 光俊
宗像市監査委員 吉田 剛

令和元年度決算に基づく健全化判断比率
及び資金不足比率審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条第 1 項の規定により審査に付された令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を審査したので、意見を提出する。

令和元年度決算に基づく健全化判断比率審査意見書

1 審査の方法

審査は、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているか確認するとともに、関係部署から聴取を行い実施した。

2 審査の期間

令和2年7月31日から令和2年8月7日まで。

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下表の健全化判断比率は、その算定の基礎となる事項を記載した書類を審査した結果、適正に導き出されたものと認められる。

判断指標	健全化判断比率			(単位：%)
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	—	—	12.51
② 連結実質赤字比率	—	—	—	17.51
③ 実質公債費比率	0.3	△0.7	△2.2	25.0
④ 将来負担比率	—	—	—	350.0

備考：「—」の表示は、比率が生じていないことを示す。

「△」の表示は、負数を示す。

平成29年度、平成30年度決算の比率を併記。

①、②については令和元年度の早期健全化基準を記載。

(2) 個別意見

①令和元年度の実質赤字比率は生じていない。

②令和元年度の連結実質赤字比率は生じていない。

③令和元年度の実質公債費比率は△2.2%で、前年度と比較して1.5ポイント改善しており、早期健全化基準の25.0%と比較して、これを下回っている。

④令和元年度の将来負担比率は生じていない。

(3) 是正改善を要する事項

是正改善を要する事項はない。

令和元年度決算に基づく資金不足比率審査意見書

1 審査の方法

審査は、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているか確認するとともに、関係部署から聴取を行い実施した。

2 審査の期間

令和2年7月31日から令和2年8月7日まで。

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下表の資金不足比率は、その算定の基礎となる事項を記載した書類を審査した結果、適正に導き出されたものと認められる。

会計の名称	資金不足比率			経営健全化基準
	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	
① 下水道事業会計	—	—	—	20.0
② 渡船事業特別会計	—	—	—	20.0
③ 漁業集落排水処理施設 事業特別会計	—	—	—	20.0

備考：表中、「—」の表示は、比率が生じていないことを示す。

平成29年度、平成30年度決算の比率を併記。

(2) 個別意見

①下水道事業会計において、令和元年度の資金不足比率は生じていない。

②渡船事業特別会計において、令和元年度の資金不足比率は生じていない。

③漁業集落排水処理施設事業特別会計において、令和元年度の資金不足比率は生じていない。

(3) 是正改善を要する事項

是正改善を要する事項はない。